

■平成28年度

農林部

課室所名	課室所長名	組織の使命 (組織のありたい姿)	プロモーション活動の取組 (市の魅力や価値の創造・発信のための取組)	経営資源		
				職員数(人)	うち正職員	うち非常勤職員
農業振興課	柿崎 浩之	<p>■横手市農業の持続的発展に資するため、多角的な農業振興を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 重点振興作物等の作付拡大を推進し複合化を図り、農家所得の向上に繋げる。 集落型農業法人や認定農業者、若手農業者等の意欲的な担い手を育成し、活力ある農業経営を目指す。 経営所得安定対策を実施し水田フル活用に繋げ、農家所得の安定化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 国及び県を通じた各種事業に関わる情報をリアルタイムで農家等に発信するとともに、市の単独事業についても市報やHP等を通じ、わかりやすい伝え方に努める。 県及びJA等の関係団体と連携を密に図り、対象者向け関係事業の周知徹底及び推進に努める。 	36	25	11
農林整備課	柿崎 政人	<p>■農林業の健全な発展と活力ある農山村づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産性の高い農業生産基盤の構築 農地・森林が持つ多面的な機能が適切に発揮されるよう支援 	<ul style="list-style-type: none"> J-クレジットの販売を通して、環境保全に積極的に取り組んでいる自治体であることをPRする。 よこて産品やイベントのPRにJ-クレジットを活用する。 多面的機能支払交付金制度を活用した活動の充実により、地域コミュニティの活性化を促進し、よこての魅力の一つである田園風景の保全を図る。 	12	10	2
農業ブランド創造課	高階 知夫	横手ブランドの確立と6次産業化の推進。	「食と農からのまちづくり」ホームページ、かまくらFM、市報等の媒体活用や市民参加型プロジェクト「チームプラスY」活動、フォーラム等の開催により、横手市産農産物へのイメージ向上を図り、地産地消、ブランドイメージづくりに繋げる。	6	6	0
実験農場	山初 仁志	○農家所得向上のカギとなる園芸作物栽培の振興拠点	<ul style="list-style-type: none"> よこて農業創生大学事業の実施 園芸作物栽培実証試験の情報提供 横手産野菜の魅力を広める取組み 	8	7	1